



時代の風が宗像へ
強く吹いているのを
感じています。
GO! 剛! NEWS!!
15号は
追い風を受ける
3つの事業についてです。

GO! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第15号

日の里地区都市再生事業に追い風が！

スポーツ史上最大の衝撃、と呼ばれたラグビーW杯の日本VS南ア戦では、日本人の特性を活かしたジャパンウェイという戦略のもと、ピッチ上で強みを最大限に発揮して流れをつかみ、芝生の状態、審判の笛、観客の声援を追い風に奇跡的な逆転勝利を成し遂げました。

宗像においても時代の必然性と宗像の特性がかみ合い、追い風を受ける事業を前面に出し、流れをつかんで自治間競争に勝利する、いうなれば<ムナカタウェイ=宗像のやり方>の確立が必要だと考えます。

日の里の団地再生は都市再生プロジェクト専門家会議の提言書提出、民間五社との協定を皮切りに、大学の調査研究、子育て世代向けリノベーションプロジェクト、などさまざまな事業がすすんでいます。

多数の団地再生事業、また地域包括ケアにおける医師会、大学、行政、地域の連携体制などが評価されUR日の里団地は「地域医療福祉拠点を進める100団地」に選ばれました。

今後、医師会や日赤看護大も含めて発足した地域医療福祉推進協議会により高齢者のための事業が提案されます。

また、東郷駅前の空き店舗は、日の里地区まちづくり協議会により協議がすすめられ、8月にオープン予定です。日の里の玄関口に人が集まり交流できるコミュニティカフェができることは活性化へ大きな効果が期待されます。

郊外型大型団地は宗像の特徴であり、その再生は日本全体の課題でもあります。住民、企業、大学、行政が協力してまちを再生する創造的的事业<団地再生ムナカタウェイ>は先進的モデルとなり宗像が勝ち抜く大きな力となります。

宗像の先人達が海の道を通り大陸へ航海したように、私達も地方創生という時代の潮流にのり、追い風を受け、未来につながる宗像の道を作っていきましょう。



日の里団地は計画的な仕掛けや視点場の創出、40年の月日とともに充実した緑がユニークな構造をしている、と評価されています。団地再生にあわせて景観に関する住民の考えを確認する場の必要性を訴えました。

●●●●●● ●●●●●● 追い風を受ける <ラグビーW杯キャンプ地誘致>と<グローバル人材>

ラグビー W杯イングランド大会における日本代表の活躍により、ラグビーを取り巻く状況は一変しラグビーブームが起こっています。これから4年後のW杯日本大会に向けて、国を挙げての競技力強化、普及啓発、スポーツ環境の造成、メディアの演出が行われ、このビジネスチャンスには多くの企業が関ります。この追い風を受けてラグビー W杯のキャンプ地を誘致することの価値と、誘致後に残るレガシー（遺産）はより大きなものになります。



W杯で歴史的トライをしたカーンヘスケス選手の市役所表敬訪問。世界に宗像を発信してくれました。

現在、大規模国際大会キャンプ地誘致推進本部が、地方創生の交付金を利用して広報ツールを整備し、蓄積されたスポーツ資産を活用して誘致活動をすすめています。スポーツ資産の中でもグローバルアリーナ、宗像サニックスブルースによる人脈、知名度、ノウハウは宗像の強みとなります。今後は、タグラグビーや試合観戦といったラグビー普及の取り組みによりスポーツ全体を盛り上げ、市民が一体となるプロモーションを強化すべきだと考えます。

このようなスポーツの流れは国際性を持ち、グローバル人材育成事業に関連してきます。

宗像でグローバル人材を育成する歴史の必然性や物語性は明らかになりました。今後はイベントや関係団体との協力により世界とつながる機会を増やし、市民への周知とブランディングを行うべきです。国際スポーツ大会に参加する海外チームや海外交流事業で来日する外国人団体に宗像の子ども達が市内を案内するむなかたガイドの育成をはじめ、国際交流や人材育成の機会や内容の充実が図られます。

将来的にアジアの各国が衣食住を満たし、教育、観光、スポーツへの関心が高まります。

アジアの玄関口である宗像にグローバル人材が育ち、宗像の強みであるそれらの事業に関連していることは、先人が作った海の道を通してアジアの国々と教育、観光、スポーツといったソフトパワーの交流をする未来につながるのではないのでしょうか。

一般質問の会議映像は宗像市役所ホームページで見ることができます。
また、日々の活動はfacebook【facebook.com/goyo4da】にて。
ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！

●●●●●● 吉田ごう議員活動ダイジェスト ●●●●●●



10月 市議になってまる三年です。任期最後の1年に身が引き締まります。宗像大社の秋季大祭に参列。子どものころから慣れ親しんだ祭りですが正式に参列できるのはありがたいことです。摩利支神社の秋季大祭では恒例の中央中同級生とのクレープ屋出店、完売でした。議会報告会では岬地区にて漁業政策を意見交換。また外国人に宗像の観光を紹介するインバウンド事業の掘り起こしも行いました。

11月 建産常任委員会の視察で三重県へ。伊勢の門前町、志摩のスポーツ観光、鳥羽のアサリ養殖を視察、ネットではみれない現場の声を聞けました。東郷コミセンの文化祭では青少年育成部会として準備、警備、後片付けで参加。ユリックスでの日の里学園オータムコンサートは児童の歌声と九州管楽合奏団の演奏が素晴らしかったです。

12月 定例会では個人番号や道の駅宗像の指定管理に関して審議を行いました。議会での発言の姿勢と視点はいつも考えさせられます。